

2020年度

神戸大学国際人間科学部発達コミュニティ学科

アドミッション・オフィス入学試験

表現領域受験【美術受験】第1次選抜

2019年10月19日(土)実施

【筆記試験】(100点)

美術に関する基礎的知識及び美術文化全般に
対する関心の深さと理解力を問う検査

試験時間：60分

(注意)

- ① 問題は4問(問題冊子は表紙を含め5枚)あります。
- ② 解答用紙は2枚あります。
- ③ 解答はすべて解答用紙の指定の欄に記入してください。
- ④ 解答は、解答用紙に横書きで記入してください。
- ⑤ 下書き用紙は1枚あります。
- ⑥ 配付した問題冊子及び解答用紙等はすべて持ち帰ってはいけません。

2020年度神戸大学国際人間科学部発達コミュニティ学科
アドミッション・オフィス入学試験問題
表現領域受験【美術受験】

【問題1】

以下の図版は、安井仲治（1903－1942年）が撮影した「斧と鎌」と題された写真（ゼラチンシルバー・プリント）である。この作品の特徴について、「形態」と「構成」をキーワードとして300字以内で述べなさい。（配点25点）

安井仲治「斧と鎌」1931年

試験問題には上記の作品図版をカラー掲載しています。

【問題2】

以下の図版は、尾形光琳（1658－1716年）が描いた「ハツ橋図」と題された六曲一双の屏風である。この作品の特徴について、「立体感」と「リズム」をキーワードとして300字以内で述べなさい。（配点25点）

※ 六曲一双：六つに折れ曲がった面（「扇」という）をもつ屏風（「一隻」と数える）が、二つ（二隻）で一組（「双」という）となっているもの。

尾形光琳「ハツ橋図」18世紀前半 全体

「ハツ橋図」左隻

「ハツ橋図」右隻

試験問題には上記の作品図版をカラー掲載しています。

【問題3】

以下の図版は、高村光太郎（1883－1956年）が制作した「手」と題された彫刻（ブロンズ）である。この作品の特徴について、「空間」と「緊張」をキーワードとして300字以内で述べなさい。（配点25点）

高村光太郎「手」1918年

試験問題には上記の作品図版をカラー掲載しています。

【問題4】

以下の図版は、オトル・アイヒャー（1922－1991年）が制作した「ミュンヘンオリンピックのピクトグラム」である。この作品の特徴について、「情報」と「機能」をキーワードとして300字以内で述べなさい。（配点25点）

オトル・アイヒャー「ミュンヘンオリンピックのピクトグラム」(左:陸上競技, 右:馬術競技)1972年

試験問題には上記の作品図版をカラー掲載しています。